

やまめ

151号

五木村議会だより 2025.1.31発行



- 補正予算を可決し
予算総額 49億 3,734万 9千円 (12月定例会) P3~4
- 議員4名が執行部に問う (一般質問) P5~8
- 下村祥平さん (村人インタビュー) P9

消防団出初式玉落とし

新年議長あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

年頭に当たり、議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと1月1日の能登半島地震、翌日の羽田空港での炎上事故などが新年早々立て続けに発生し、8月には初めての南海トラフ地震臨時情報の発表、9月には地震被害地である能登半島での大雨災害など多くの災害に見舞われましたが、パリ五輪での日本人選手、大リーグでの大谷翔平選手の活躍などの明るいニュースもございました。

五木村におきましては4月18日新しく熊本県知事になられた木村敬知事が来村され、過去の川辺川ダム建設に伴う熊本県の対応を陳謝されるとともに、今後の五木村振興に尽力すると表明されました。また、4月21日には議会立会いの下、村長が流水型ダムを前提とした村づくりを行うことを表明されました。それを受け7月16日には国・県・村の三者で策定した「新たな五木村振興計画」の一部改訂の確認式を行うなど川辺川ダム建設に向けた動きの大きな一年でした。

私たち議会といたしましても、ダム対策調査特別委員会を11回開催し、五木村振興計画の促進と実施の確

約などを求め議論を行い、治水計画など新たな五木村の在り方を国県村と共に考え、検討した一年であつたと思います。

また、昨年9月21日には恒例となりました「中学生議会」が開催され、ダム問題・地域振興について質問がなされました。郷土を大事に思う柔軟な発想をもつ若者の考えは、これからの五木村を考える上で大事な指針になると思います。

本村は少子高齢化・過疎化・ダムなど課題が山積しており、それらの問題解決に向けて執行部と切磋琢磨しながら議会議員一丸となって、より住みやすく、皆が幸せであると感ずることのできる五木村となるよう、一層の努力を行い、取り組んでまいります。

結びに、この一年が災害のない静穏な年でありますとともに、村民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



12月

定例会

こんなことが
決まりました

五木中学校校舎

改修設計業務委託料に

4,200万円

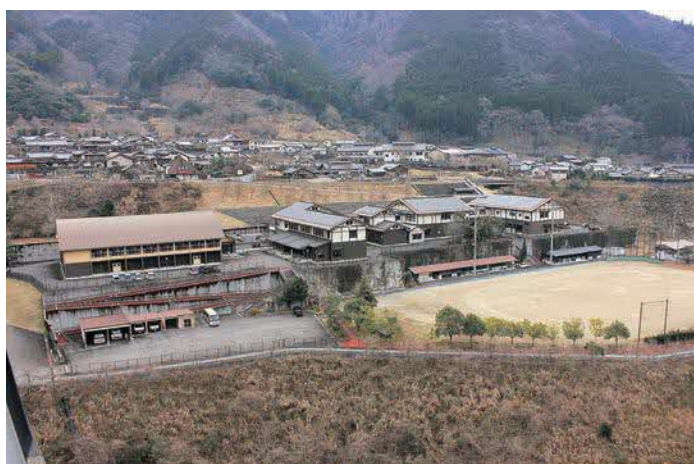
令和6年第4回五木村議会定例会が12月11日(水)から12月13日(金)の3日間の日程で開催された。

今回、議会へ提案された議案は諮問案件1件、条例の制定案件1件、条例等の一部改正案件3件、工事請負契約の締結案件1件、補正予算案件7件の計13議案が上程された。

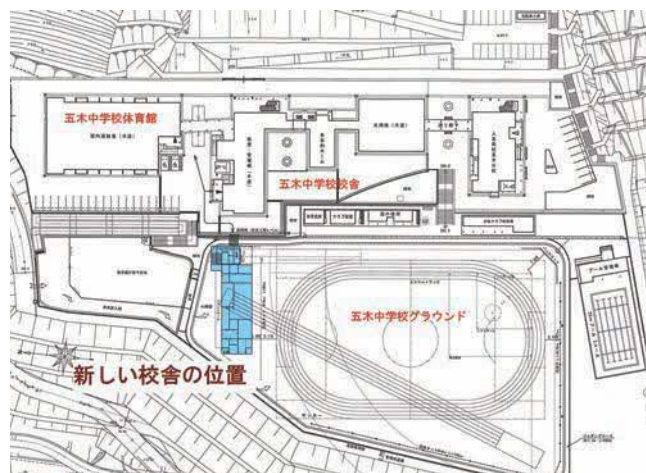
第1日目は諸般の報告、提案理由の説明、議案審議。第2日目は4名の議員が一般質問を行い、五木村の振興や道の駅、地域おこし協力隊、消防団活動等について、執行部を質した。第3日目は議案審議、討論、採決が行われ、全会一致で可決し、閉会とした。今議会で決定した予算総額は49億3,734万9千円となりました。

【一般会計補正の主なもの】

給与改定に伴う職員給与・手当	1,952万1千円
地方バス運行等特別対策補助金	1,151万3千円
障がい福祉サービス費等給付金	300万円
造林事業補助金	300万円
五木中学校校舎改修設計業務委託料	4,200万円
林道災害復旧工事（令和6年度災）	6,000万円



現在の五木中学校



現在考えられている新校舎の位置

— 第3回定例会 議案審議の結果 —

議 案 名		園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果 (賛成:反対)
諮問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	適任答申 全員賛成
議案 第65号	五木村一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第66号	五木村行政手続等における押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第67号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第68号	人吉球磨広域行政組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第69号	工事請負変更契約の締結について（元井谷川河川災害復旧工事）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第70号	令和6年度五木村一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第71号	令和6年度五木村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第72号	令和6年度五木村介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第73号	令和6年度五木村代替地上下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第74号	令和6年度五木村情報通信事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第75号	令和6年度五木村簡易水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第76号	令和6年度五木村農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

第6回臨時会

工事請負契約の締結を可決

令和6年第6回五木村議会臨時会が10月31日(木)に開かれ、議案第64号工事請負契約の締結について(道の駅(物産館)改修工事)を議会にて審議した。この議案について全会一致で可決した。

議案名	議案第64号 工事請負契約の締結について(道の駅(物産館)改修工事)	全会一致 可決
契約の目的	産業工第3号 道の駅(物産館)改修工事	
契約の方法	指名競争入札に付し落札契約	
契約の相手方	熊本県人吉市西間上町2479-1 丸昭建設株式会社 代表取締役 松村 陽一郎	

— 第6回臨時会 議案審議の結果 —

議 案 名		園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果 (賛成:反対)
議案 第64号	工事請負契約の締結について（道の駅（物産館）改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

集落が消えていくがどうする

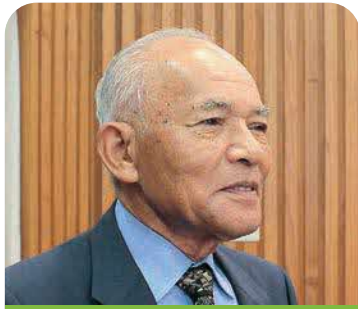
木下村長 ダムによる影響が一番の要因

人口減少対策について

議員 戦後60000人以上いた人口も現在8000人台に激減し、時代の変革と国県による川辺川ダムの建設計画によって、計り知れない損失を被る中、村内各地の集落が消えているが一番の要因は何であると思うか。

村長 川辺川ダム建設に伴う人口流出が一番大きな要因だと考える。

議員 最近ではダムに関係なく村内の集落が消えつつある。このようにして五木全体が消滅の危機にさらされているが、その対策は。



西村 久徳 議員

村長 子育て支援等によって若者に定住してもらうことが必要。二地域居住などを含め総合的に検討する。

議員 早急に具体的な対策を作り、議会とも議論していただきたい。

少子高齢者対策について

議員 生まれる子供は少なく、高齢者率は50%近くになり県下のトップである。明るい未来を地域住民に与えることが必要では。

高田保健福祉課長 少子化対策として保育所の保育料の無償化、小中学校の給食費などの無償化。高齢者には生きがい対策や住宅のバリアフリー等の支援を行っている。

議員 子供さんをたくさん産んでもらうよう啓蒙をお願いする。

ひかり輝く新たな振興策について

議員 ダムの話が出てから58年になる。国県は流水型ダムを前提とした新たな村づくりとあるが、本当に村民が安心して暮らせることができるのか、村民の中には不安もある。前に計画していた五木ダムの不確定要素、河川整備、国道445号、県道宮原五木線の大通トンネルの掘削(3000m)、小鶴原女木線、五木湯前線、久連子落合線の早期改良の話が出てから何十年になるが、早く実行すべきではないか。

麦田政策調整監 安全安心の確保のため、国、県が砂防・治山・河川事業に取り組みされている。県の河川整備については、通常30年を目安に整備するところ、11年後の令和17年の完了を目指して取り組むと表明されている。



群馬県長野原町にあるハッ場ダム研修

議員 ハッ場ダムは68年をかけて完成し、観光客も年間300万人ともいわれる。立派な道路ができており、五木の道路と比べ物にならない。多目的ダムであり町に勢いを感じる。川辺川ダムでも少しは発電を行い、村民は何十年と苦しんできたので電気代を10年か20年、無料で提供するなど、村民が喜ぶことをすべきではないか。

村長 今回の新たな振興計画は、五木村の再生の最後のチャンスだと認識しており、国・県・村が同じ思いで取り組んでいる。将来に禍根を残さないような政策を進めていきたいと思う。

計画した事業は早く実現を

木下村長 国県村で連携し進める



藤本 新一 議員

ひかり輝く五木村 振興計画について

議員 振興計画も中間の年度となるが、未だ計画されていない事業があることを村長はどう思うか。

村長 国県村で分担、連携し進める。前期5年では県道宮原五木線の改良事業を行う。

議員 村独自事業の高齢者対策や若い方の定住対策などは全国的な人口減少の中でどのような事業を行うか。

村長 総事業数186事業、国県村で役割を分担し村民の方に結果が見える取り組みをする。

議員 村独自事業で若い方

の定住対策をする村長の考えは。

村長 基本となる村を担う人材の育成、産業の育成など若手の方々と協議しながら、人口減少対策を進める。

議員 避難路の整備や高齢者向けのグループホーム等を検討する協議会等の立ち上げは。

高田保健福祉課長 五木村住みよい村づくり推進協議会の7名で令和5年度2回の協議をしている。

議員 国も避難所の環境整備でエアコン・トイレ・高齢者向けベッド等を検討している。早めに村内の各避難所を整備する必要があるのでは。

村長 情報を収集して取り組みたい。

議員 各地区で座談会を行っており、村民の意見や要望事項を重く受け止め、事業化する考えはあるか。

村長 意見や要望等を聞くだけではなく、できるものは事業化する。

議員 集落で行う年間行事を継続はできない集落も多くなってきたが、村長はどう受け止めているか。

村長 集落の世帯数が少なくなってきたっており、二拠点生活として冬場はこちらで生活し、暖かくなれば自宅に帰って生活をする方法も進めた。

議員 岡山県奈義町は若い方の定住に力を入れ、出生率が2・95となっている。また熊本県高森町は県立高校の生徒数が20名くらいから、マンガ科を作ったところ、75名の生徒数となっているとのこと。村長の受け止めは。

村長 奈義町は自衛隊の駐屯地であり、町全体で取り組みをしている。高森町は学生寮を整備した取り組みをしており、五木村も県立高校のあり方を検討している。

物産館について

議員 物産館改修工事が稼ぎ時である紅葉の時期に重なり、

仮店舗で営業しているため、生産者の収益が通常の半分ぐらいいなっていると聞くが。

村長 ご指摘のとおりでトイレ休憩と物産館が別々になっており、素通りする方が多い。

土肥産業振興課長 改修工事は財源的な理由もありこの時期となった。出荷協議会と会議の場を持ちたい。

議員 店舗で働く人の給料等には変わらないが出荷協議会の人の収益は大きく減少している。補助する考えは。

村長 出荷協議会と話し合ってみる。



温泉館で仮営業中の物産館

地域おこし協力隊の定着は

木下村長 地域とのコミュニケーションづくり

地域おこし協力隊について

議員 地域おこし協力隊の実績と効果は。

土肥整二ダム対策課長 平成27年度から20人の隊員を採用、活動としては地域づくり、部活動支援、空き家対策、移住定住などの活動に従事。効果についてはある程度の実績は得られている。

議員 村から離れていかれた方の理由の検証はされているのか。

ダム対策課長 将来を見据えたとき生業として可能かどうか、村内の事業所に就職するいは、起業などを考えて不安があるというところで転出された。



早田 吉臣 議員

議員 総務省の支援以外に村からの支援体制づくりは行われて来たのか。

ダム対策課長 毎月初めダム対策課を含め全体ミーティングを開催、活動報告、相談などを行っている。

議員 協力隊の募集は目的を持って行って来たのか。

土肥産業振興課長 現在、観光振興、鳥獣被害、営農栽培、除伐型林家、などの目的を持った募集を行っている。

議員 協力隊の給与は一律同じなのか、自治体によっては業態によつて違った体系をとっているところもあるが。

ダム対策課長 総務省の基準に沿った報酬年額320万円、活動費200万円の中で活動を行っていたらいい。

議員 岡山県西粟倉村では業態によつて給料を変えていて事業所に協力隊を採用してもらい事業を持続可能な状態に持つていくようなことを行っているがそのような工夫は出来ないか。

村長 村では特定地域づくり協同組合を熊本県で第1号として設立、その充実をしながら将来、村での起業、定住をしていただくような取り組みを行い支援して行きたい。

議員 協力隊とのサポート体制で、隊員だけでなく地域の住民とのコミュニケーションづくりも必要ではないか。

村長 3年間という期間で地域との交流もなく定住が進まなかった一因はあるうかと思うので、今後は地域とのコミュニケーションづくりにも取り組んでいきたい。

地域振興計画について

議員 新たな五木村振興計画の来年度重要施策は何を中心とされるのか。

村長 振興計画の大きな4つの柱を軸にもう少し大きくし東地区のランドデザイン会議、宮園地域の振興協議会また、中学生議会の意見などに対応していきたいと思つている。

議員 人材の育成が大事で若い人たちが村に住み何をしたのかどうかを聞きそれを支援する体制が必要と思つた。

村長 教育委員会では、小中学校を1年生から9年生までの義務教育体制にして今後は、高校までそして保育園、子育てから高校教育までと今後協議、また、林業大学校を2年の専修課程を設けていきたい。

議員 山村振興交付金(年間1,000万円)の活用は行って来たのか

ダム対策課長 現在山村振興交付金の活用はしていない。過去農林水産物協議会の立ち上げに3年間活用をしたことがある。

議員 この交付金は工夫して活用すべきでは。

ダム対策課長 今後、活用の仕方を勉強し対応していきたい。

行方不明者捜索について

竹村総務課長 準備不足が一番の原因



五木村消防団

議員 11月9日・10日に発生した行方不明者の捜索の際、28名の消防団員の方が日没で野宿をされたと聞いている。指揮系統に問題はなかったのかお尋ねしたい。

竹村総務課長 国見山付近の地形を知らない消防団員が捜索したことや、準備不足が一番の原因ではないかと思っている。



川邊 正美 議員

議員 山に入る時には現場周辺の地形に詳しい人に案内を依頼したり、周辺の地形図を用意するなど、今後検討していただきたい。

村長 山岳の人探しや行方不明者の捜索については、地元の人探友会にもお願いをし、何かあったらすぐに連絡を行い一緒に行ってもらおう体制の構築も必要だと思う。

議員 装備品等の中に懐中電灯などを入れておくなどの準備をして即座に出動できる体制を整えておく必要があるのでは。

総務課長 今回の場合は北分署に集合という指令であり、本来なら一旦詰所に集合し各分団長の指示を受けてから必要な道具を用意して北分署に向かえば良かった。本日開催される分団長会議でもこの件については反省点も含め、十分協議をする予定である。

議員 住宅火災、山林火災等は消火訓練や中継訓練を消防署と定期的に行っていると思

うが、今回のような山林での捜索についても連携訓練が必要だと思うか。

総務課長 行方不明者の捜索の訓練は行ったことがないので分団長会議で話し合う予定である。

議員 家庭用の火災報知器は設置して10年以上になると思う。電池が切れて起動しないのが多いのではないか。消防団や区長会を通じて更新をすればどうか。

総務課長 平成16年6月から義務化になっている。今後はまず調査をしたいと思っている。このほかに保健福祉課の事業である75歳以上の高齢者生活応援事業補助金事業を利用できないか検討する。

議員 瀬目公園のトイレの改修について、今年3月の定例会の時に質問し、検討すると回答を得た。その後どうなったのかお尋ねしたい。

土肥産業振興課長 設置者の国と村で施設管理の協定を結んでいるが、便器が古くて利



様々な装備を備えている詰所（第1分団）



家庭用の火災報知器

用や管理の面でも改善が必要という認識になってきている。できれば次年度の予算編成まで方向を固めて何らかの対応を行いたい。

村長 令和7年度当初予算でやっていきたい。

下村 祥平さん

28歳(下谷)

①自己紹介

6年ほど前に五木村に帰ってきて振興公社で働いています。休日はたまに海釣りに行きストレスを発散しています。

②仕事について

振興公社で道路の維持管理やJNC等の委託業務をしています。

③五木の感想

私が小さい頃よりもヒストリアテラスやヴィラ等の施設が増え、頭地大橋もでき交通の便も改善されて観光の誘致にも力を入れているんだなと思いました。

ただ、商店や食堂等が少なく、閉店時間も早いし活気がない気がします。

④村や議会への思い

仕事柄、山間部に行くことが多いのですが、通信環境が整っていないため、何かあってもすぐ連絡が取れないことが多い。

五木ではこういった職業が多いと思うので、改善していただければと思います。また、若者が住みやすい村にしていきたいです。



振興公社の道路維持作業の様子

議会の動き(10月~12月)

10月

- 2日 定例全員協議会(全議員)
八代市議会議長来村(議長)
- 4日 人吉球磨広域行政組合議会決算特別委員会(田山・西村議員)
県道五木湯前線・幸野染田線改良貫通促進期成会要望(議長・川邊経済委員長)
- 7日 郡町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会(各議員)雨天により中止
- 9日 第5回臨時会(全議員)
県町村議会議員オンライン研修(全議員)
第1回広報委員会
- 10日 定例郡議長会議(岡本議長)
人吉下球磨消防組合定期監査(川邊議員)
- 16日 第2回広報委員会
- 21日 第2回決算認定審査特別委員会(各委員)
第3回広報委員会
- 22日~24日 町村監査委員全国研修会(田山監査委員)
- 25日 人吉球磨広域行政組合議会決算特別委員会(田山・西村議員)
- 28日 例月監査(田山監査委員)
- 29日 東小学校へ行こうの日(各議員)
- 31日 第6回臨時会(全議員)
第3回決算認定審査特別委員会(全委員)

11月

- 5日 定例全員協議会(全議員)
第4回決算認定審査特別委員会(全委員)
- 6日 県広報委員研修会(各委員)
- 7日 人吉下球磨消防組合定期監査(川邊議員)
- 8日 定例郡議長会議(岡本議長)
小さな村g7サミット(全議員)

12月

- 4日 議会運営委員会(全委員)
定例全員協議会(全議員)
- 8日 八代市樅木砂防堰堤起工式(岡本議長)
- 10日 人吉下球磨消防組合定期監査(川邊議員)
- 11日 議会運営委員会(全委員)
- 11~13日 第4回議会定例会(全議員)
- 14日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会(田山・西村議員)
- 17日 定期監査(田山監査委員)
- 18日 ダム対策調査特別委員会(全委員)
- 20日 例月監査(田山監査委員)
- 21日 国道219号整備改良促進期成同盟会総決起大会(岡本議長)
- 25日 人吉球磨広域行政組合議会定例会(田山・西村議員)
- 26日 郡議長・副議長合同会議(岡本議長・中村副議長)

空から こんにちは!

連載第4回



八原



九折瀬

九折瀬・八原地区

世帯数 8世帯
男 12人
女 19人

写真提供：
地域おこし協力隊
平山 光信 さん

つぶやき

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
本年も議会広報紙「やまめ」をよろしく
お願いします。

早くも2月になりました。2月3日は立春で暦の上では春になりますが、厳しい寒さがまだしばらくは続くことでしょう。村民の皆様には体調管理にお気をつけていただき、暖かくして過ごしてほしいと思います。今年一年が皆様にとって、また五木村にとって、幸多い年になりますよう心より願っています。

中村 俊也

やまめ150号にて間違いがありました。お詫びいたしますとともに訂正いたします。

2P やまめ第25号記事

「昭和62年」→「平成5年」

2P やまめ第82号記事

「川辺川ダム本体着工に同意」
↓「削除」

五木村議会広報委員会

委員長 田山 淳士
副委員長 園田 良治
委員 中村 俊也
委員 川邊 正美

次回の定例会は3月上旬の予定です。
皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏

五木村議会だより

やまめ

151号

2025・1・31発行

発行責任者 五木村議会
編集者 岡本 精二

〒990-0201
熊本 栗球 磨都 五木村 甲2672-17

TEL(0966)3712352